

有害プランクトン情報

(令和元年度 - No. 11)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 2月 第1回 内湾(8地点) 2/11,12 内房(7地点) 2/12
- 2月 第2回 内湾(8地点) 2/19 内房(7地点) 2/19,20
- 貝類漁場内 九十九里 2/19

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮(透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上)は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は1細胞/mL, シュードシャットネラ属は100細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL, カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発生します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが2/11の千葉灯標ほかで0.05細胞/mL, ディノフィシス ロツンダータが同日同地点ほかで0.05細胞/mLでした。なおディノフィシス アキュミナータは10/2に千葉灯標で20.55細胞/mLまで増加しましたが、被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

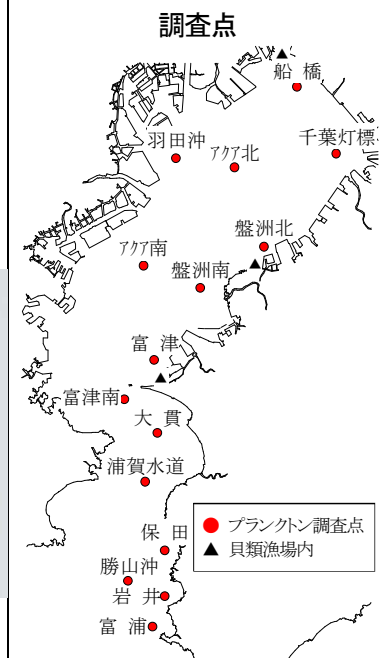
- 2/11,12 内湾 珪藻 スケレトネマ属, キートセロス属
- 2/12 内房 珪藻 キートセロス属
- 2/19 内湾 珪藻 スケレトネマ属, キートセロス属
- 2/19,20 内房 珪藻 ディチルム属(図1), ユーカンピア属(図2)



図1 ディチルム属
(2/19 富津南)



図2 ユーカンピア属
(2/20 浦賀水道)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp